

行政自治会だより

第8号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 天笠順弘

地域防災訓練が実施されました



みんなで力を合わせて消火します（バケツリレーによる初期消火訓練）

平成25年9月1日（日）、防災の日に総和北中学校区の14行政区を対象として地域防災訓練が開催されました。

午前8時に直下型地震が発生したとの想定のもと、行政区ごとに避難を行いました。引き続き、応急手当訓練、初期消火訓練、救助隊による救出救助訓練等を行いました。当日は、天候に恵まれましたが、猛暑日となりました。大変暑い中でしたが、地域住民をはじめ、約650人が参加いたしました。

災害発生時の応急手当や初期消火は、地域住民の力が欠かせません。地域の防災力を高めましょう。

目次

- P1 地域防災訓練が実施されました
- P2 第4回行政自治会親善ソフトボール大会開催される
第4回行政自治会親善バレーボール大会開催される
タウンミーティング開催中
- P3 地区紹介（第3地区）
- P4 市内歴史散歩（第7回）

第4回行政自治会親善ソフトボール大会開催される



選手宣誓をする選手達（上大野グラウンド）

平成25年度、標記大会が、6月2日（日）上大野グラウンド、三和野球場、リバーフィールド古河などで開催されました。チャレンジ部門42チーム、エンジョイ部門45チームの参加で、昨年より3チーム減となりましたが、楽しい一日を過ごしました。結果は次のとおりです。

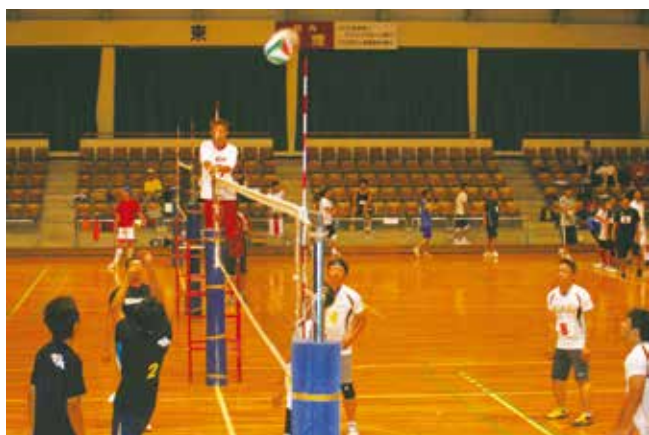
（広報委員 荻谷武士）

第4回行政自治会親善ソフトボール大会結果 ※各ブロックの優秀賞のみ

チャレンジ部門 (男子)参加37チーム	A久能、B小堤、C関戸、D女沼、 E清水、F諸川西部、G東牛谷、H磯部、 I間中橋、J下尾崎一
チャレンジ部門 (女子)参加5チーム	上辺見
エンジョイ部門 (男女混合) 参加45チーム	A八幡町、B桜町、C静岡、D下山二丁目、 E鴻巣、F原町、Gけやき平、H松原町、 I緑町、J雷電一丁目、K下三

第4回行政自治会親善バレーボール大会開催される

平成25年度バレーボール大会が、8月25日（日）に開催されました。9人制（男子、女子、男女混合）、4人制の部（フリー、シルバー）など、主催者側も工夫されておりますが、各自治会、行政区はチーム編成に苦労しているようです。趣旨にうたわれているとおり、親睦と連帯意識の向上、体力づくりは必要ですが、特に若い層の意識が多様化してきており、役員が選手集めに苦労しているようです。



計90チームが参加しました

結果は次のとおりです。

（広報委員 荻谷武士）

第4回行政自治会 親善バレーボール大会 結果

部 門	ブロック	優秀賞
9人制 男子の部	A	葛生行政区
	B	上辺見行政区
	C	前林行政区
9人制 女子の部	A	仁連御辺行政区
	B	女沼行政区
	C	上辺見行政区B
9人制 男女混合の部	A	中田町自治会
	B	仁連江口第二行政区
4人制 ソフトバレーボール フリーの部	A	諸川東松原行政区
	B	駒羽根住宅団地行政区
	C	けやき平自治会
	D	諸川上町・諸川中央町 行政区(合同参加)
4人制 ソフトバレーボール シルバーの部	A	上大野行政区A
	B	上大野行政区B
	C	小堤グリーンタウン

タウンミーティング開催中

現在、市では市政への市民参画の一環として、地区ごとにタウンミーティングを開催し地域の方々と意見交換を行っています。自治会、行政区も地域生活の向上のため、質問、要望等を行っています。

お近くで開催の際は、ぜひ参加して、一緒に地域について考えてみませんか。



第5地区（10月11日）

地区紹介（第7回） ～第3地区～

第3地区は、平成20年4月に第三小学校エリアの自治会で組織された5自治会（下山一丁目、下山二丁目、下三、旭、住吉町）で設立され、現在2316世帯で構成されています。

地区内の現況は、平成9年から始まった、古河駅東部土地区画整理により、下三自治会は開発され、古河赤十字病院が開設されると、自然の流れで、周辺にはマンション、アパート、戸建住宅、店舗等が建設され、発展するに伴い、人口も増えております。

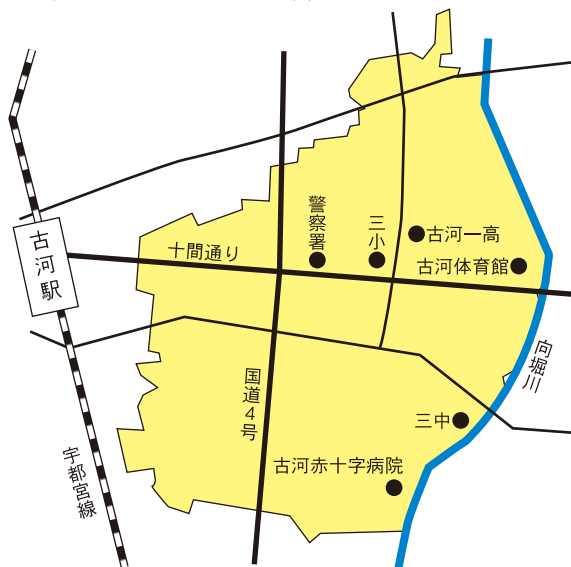
地域的には、4号国道を中心に、南北1.5km、東西1kmに跨っております。中でも下山一丁目自治会内の国道から、古河駅東口まで通じる通称十間通りの100mの両側は、銀行、保険、証券、不動産、高級洋品、理容美容の店が約50店舗立ち並び活気を呈しております。

行事としましては、第3地区では盆踊り大会を行っています。平成22年1月の役員会で地域の活性化と、子供達の夏休みの故郷の思い出づくりのため、盆踊り大会を行ってはどうかという意見がまとまり、平成22年度に第1回目の盆踊り大会を始めました。その後、第3地区では、平成24年6月2日に、コミュニティ組織、「珊瑚の会」（針谷勇会長）が設立され、平成24年度開催の第3回から「珊瑚の会」が盆踊り大会を引き継いで行うようになりました。盆踊り大会は、地区内の旭自治会のご理解で、自治会で使用していた用具を一式借り受けております。また、第三小学校の校庭で開催しており、学校の施設をお借りしますので、校長先生始め諸先生の、格別なご協力をいただいております。なお、盆踊り大会の周知については、ポスター100枚を掲示し、加えて、アイス券とゲーム券付のチラシを作成し、



盆踊り大会

第3地区 区域



地区内の全世帯、提灯寄付者及び景品寄付者に8,000枚を配りました。平成25年度、第4回の盆踊り大会では、会場を盛り上げるためのオープニングセレモニーに、古河第三中学校吹奏楽部45名に演奏をしていただき、喝采を受けました。また、古河民謡協会、古河甚句保存会の皆さんの囃子と、地区内フラダンス会の大野先生のご協力をいただき延べ200余名の出演をいただきました。他にも、子供達の思い出づくりのために、PTA、おやじの会、三子連、子供会の協力を得て、かき氷、輪投げ、ストラックアウト、ヨーヨー、昔遊び、ジュース販売のお店を出していただき子供達に伝えました。

運営費は企業や個人に名前入りの提灯を購入していただき、毎年提灯を会場に飾る事での広告費分と、市の補助金で大半が賄われます。又運営は、「珊瑚の会」の会員から選出された、実行委員約50名によって行われます。踊り手達に贈る景品は、地区内の、スーパー等の企業より寄付していただいております。今年は、7月8月の暑いなか、第三小学校体育館で、盆踊りの先生（きんもくせい）を招いて地区内の子供から大人までを動員して、3回も練習を行いました。第三小学校の3年生50名の児童も、特別練習に参加していただきました。今年も、盆踊り大会終了後に、景品の抽選会を行う等のアイデアが出され、8月17日（土）18日（日）の2日間で、天候に恵まれたとは言え、約3,000名の観客が来場いたしましたので役員一同皆様に感謝しております。

（第3地区 地区長 横山泰男）

市内歴史散歩（第7回）～ 姉妹都市 古河市と真室川町のご縁 ～

大堤交差点の西方に「鮭延寺」という大きなお寺があります。本堂のぐしに、土井家、永平寺、鮭延家の家紋があり、格式の高さを窺い知ることができます。堂内には鎌倉時代慈覚大師作の聖観音立像があり、安産にあらたかなりと参詣者が多いのです。

寺号となった鮭延越前守について、調べてみました。鮭延城は山形県の真室川町内町字古城にあって、戦国時代真室川地方を治めていた佐々木貞綱が近江沢と薬師沢の馬の背に築城した小さな山城でした。天正9年（1581年）、山形城主から、その子秀綱に「山形の在番を勤めよ」と再三強く命じられましたが、「我、山形に従う理由ない」と応じませんでした。山形城主は怒って大軍で攻めたてました。しかし、秀綱は4ヶ月の間大軍と闘いぬき、若干18歳だった秀綱の勇敢さと戦術の巧みさに感じ入り、和睦を申し出て、秀綱と山形最上家は行動を共にするようになりました。1万5千石「鮭延越前守秀綱」と名を改め、最上家の大将となりました。

天正10年（1582年）、酒田へ進行、秋田南部を落し、いつも先陣をとり負け知らずの武将となり、東北の義経と呼ばれたのはこの頃でした。

関ヶ原合戦の頃、上杉方最強の直江山城守が、最上義光の領内に攻め入りました。山形城にいた秀綱は直に出陣し上杉軍を蹴散らしました。この功績で最上家家老となり、最上家57万石の基礎を作ったのでした。東北では仙台伊達氏と並ぶ大名となりました。

しかし、元和8年（1622年）山形最上家は家臣の内輪もめや不祥事を徳川幕府に咎められ改易となりました。

秀綱は幕府の老中土井利勝（古河市）にお預け、永蟄居の身となりました。秀綱を慕う家臣たちは別れを惜しみ、どこまでも離れませんでした。結局、殿様を最後までお守りしたいという14名の

重臣が古河までついて来ました。土井家では、幕府に願い出て、元和9年（1623年）春、秀綱に五千石を与え、客人としての待遇をしたのです。秀綱はこれを全て家臣に与え、84歳の生涯を終えました。

土井家は秀綱の屋敷地に「正源山鮭延寺」を建立し菩提を手厚く弔ったのです。「正源院殿前越州大守松雲宗長大居士」秀綱の墓地は現存し、空風火水地と刻まれた五輪の塔は、花をたむけて目を上げれば天にとどく程の大きさです。

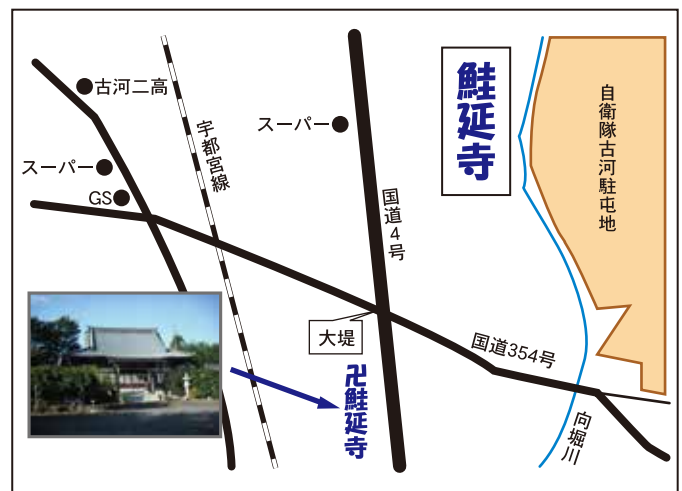


秀綱の墓

こうした土井家の厚情に真室川町の人々は、古河市に感謝と親しみの心を持ち続けているそうです。そんなご縁で姉妹都市として交流があり、今後もより強く深く続くものと信じます。

（広報委員 荻谷武士）

※一緒に取材中に急逝された元広報委員の新倉様のご冥福をお祈りいたします。



編集後記

平成25年度「タウンミーティング」が行政自治会各地区で12月6日まで行われますが、現在までに提出されている質問は100件を越えて居ります。

内容ですが、多い順から建設（道路）、交通（信号機）、企画（道の駅、マラソン、文化施設）、環境（除草、空き家）、水道（下水道）で日常生活に関係の深い問題が出されて居ります。

市からの回答が出されて居りますが、行政自治会としても協力して問題解決にあたりたいと思います。

（広報委員長 伊藤利彦）

行政自治会広報委員会

委員長

伊藤利彦

委員

鈴木國雄 横山泰男 荻谷武士

坂本廣次 森田昭二 菅原和美

那須和弥 湯本 豊 関 義夫